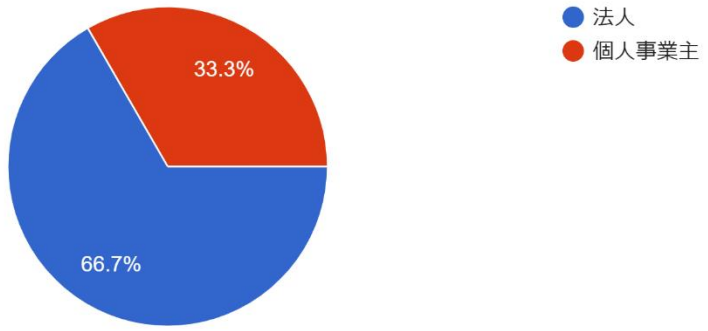
遠軽商工会議所景気動向調査報告書
（令和４年 第Ⅰ四半期）

１．調査時点　：令和４年４月１日（金）～令和４年６月３０日（木）
２．調査対象期間：令和４年４月～６月期実施、および令和４年７月～９月見通し
３．調査対象：遠軽商工会議所会員
４．調査方法：調査対象に調査票を送付し、ＦＡＸ・メール・インターネット（Google フォーム）の返信にて回答を受けた

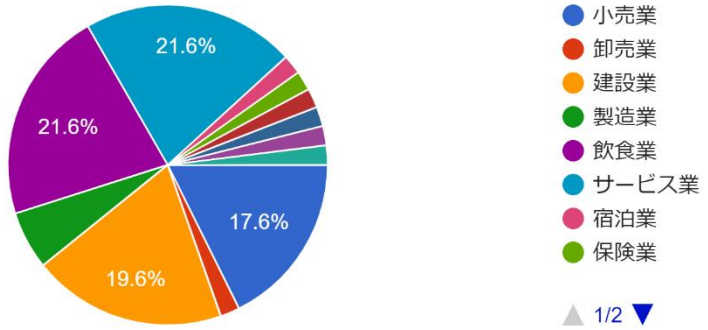
◇法人・個人事業主

51 件の回答



◇業種（小売業・卸売業・建設業・製造業・飲食業・サービス業・宿泊業・その他）

業種
51 件の回答

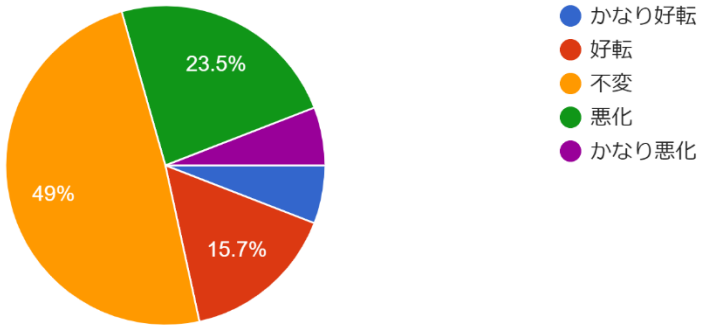


A．今期の実績について（令和４年４月～６月実績）

①前期（令和３年４月～６月）に比べ、今期（令和４年４月～６月）の業況

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

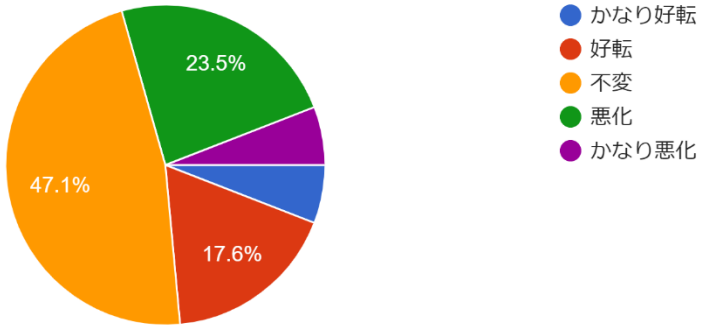
前期（令和３年 ４月～６月実績 ）と比べた業況
51 件の回答



②前期（令和３年４月～６月）に比べ、今期（令和４年４月～６月）の売上高

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

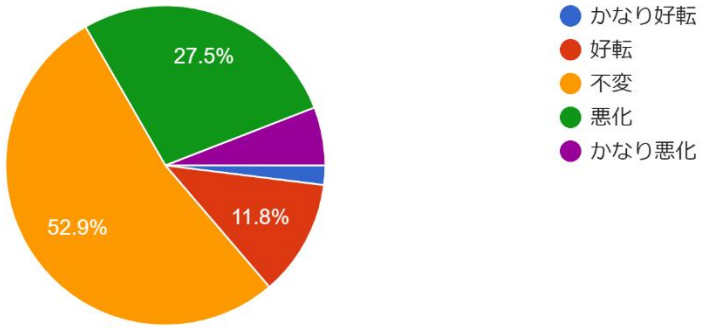
前期（令和３年 ４月～６月実績 ）と比べた売上高
51 件の回答



③前期（令和３年４月～６月）に比べ、今期（令和４年４月～６月）の採算

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

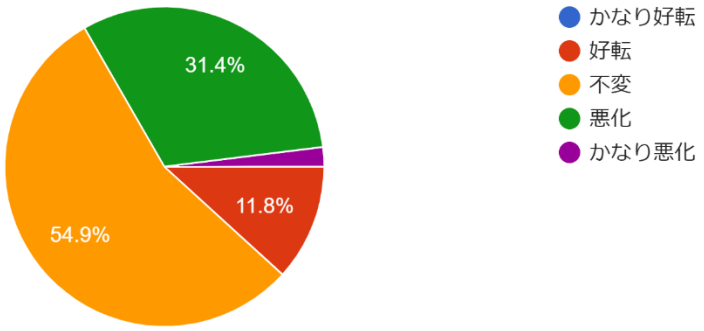
前期（令和３年 ４月～６月実績 ）と比べた採算
51 件の回答



④前期（令和３年４月～６月）に比べ、今期（令和４年４月～６月）の資金繰り状態

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

前期（令和３年 ４月～６月実績 ）と比べた資金繰り状態
51 件の回答

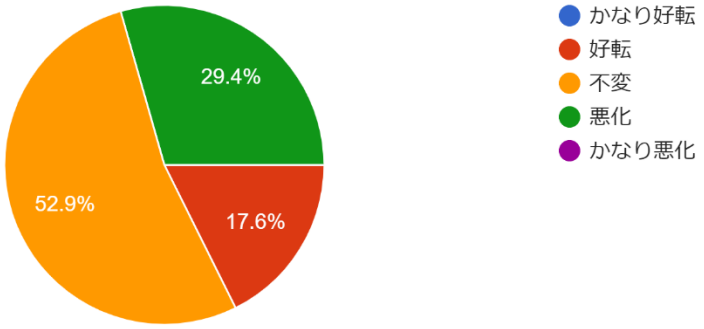


B．<u>来期の見通しについて</u>（令和４年７月～９月予想）

①今期（令和４年４月～６月）に比べ、今期（令和４年７月～９月）の業況

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

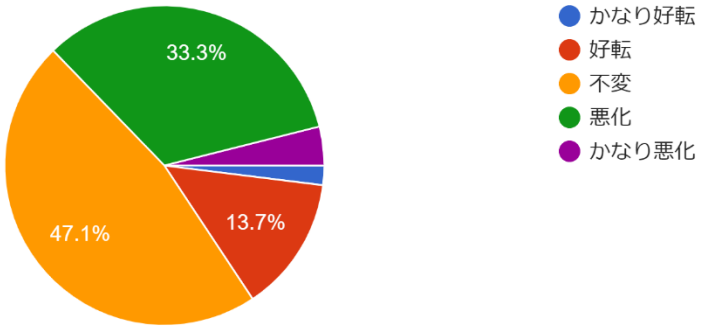
今期実績（令和４年 ４月～６月実績 ）と比べた売上高
51 件の回答



②今期（令和４年４月～６月）に比べ、今期（令和４年７月～９月）の売上高

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

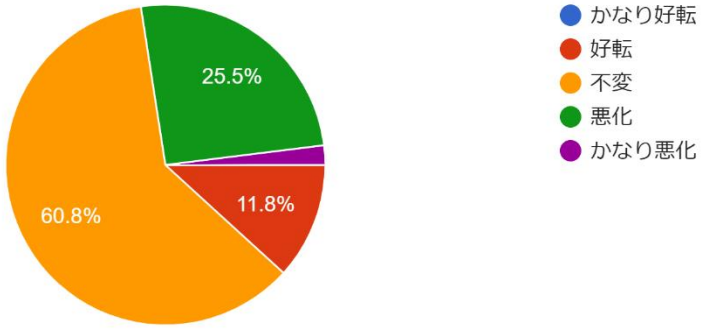
今期実績（令和４年 ４月～６月実績 ）と比べた業況
51 件の回答



③今期（令和４年４月～６月）に比べ、今期（令和４年７月～９月）の資金繰り状態

１．かなり好転	２．好転	３．不変	４．悪化	５．かなり悪化

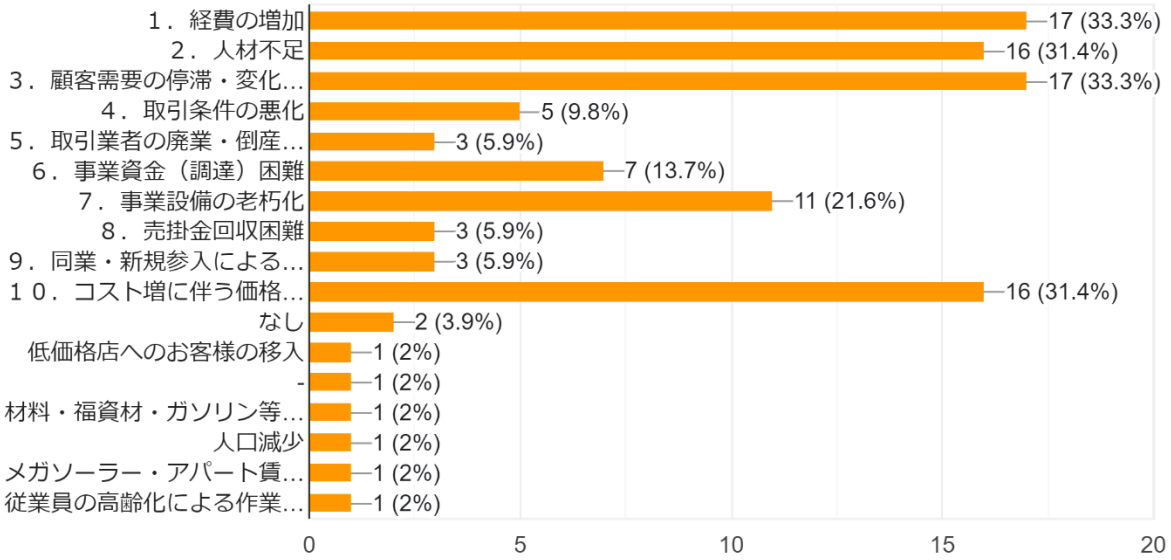
今期実績（令和４年 ４月～６月実績 ）と比べた資金繰り状態
51 件の回答



C．今期の経営上の問題点(複数回答可)

① 経費（具体的にあれば：　　）の増加　② 人材不足
③ 顧客需要の停滞・変化による対応　④ 取引条件の悪化　⑤ 取引業者の廃業・倒産・閉鎖
⑥ 事業資金（調達）困難　⑦ 事業設備の老朽化　⑧ 売掛金回収困難
⑨ 同業・新規参入による競合　⑩ コスト増に伴う価格転嫁
⑪ その他(　　)

複数回答
51 件の回答



＜上記「経費の増加」具体的内容＞（自由回答）

・食品の値上げ
・ガソリン代、電気、ガス、燃料、人件費経費値上げ（増加）
・人件費増
・物資の高騰
・光熱費、仕入れ価格、生活費の増加
・仕入れ、材料費の値上げ
・外注の人工代
・原材料単価増
・家賃支払い
・経費削減策の手詰まり感

Ｄ．新型コロナウイルス感染症による問題点（自由回答）

・電気、材料費、燃料費の高騰等
・人材不足
・感染者が増えると外出控えとなり、来店客、利用客が減少し、収入が減少
・需要減少
・コロナの人数が増えて経済が止まっているのに策がない
・コロナの影響もやぶさかではないが、侵攻による影響が大
・資材、修繕部品の入手困難
・大口先のイベントが無くなり、取引が解消等影響が大きかった
・支援金の追加を希望する
・販売不振による資材需要の低迷
・会食需要の激減
・取引先の廃業
・お客様の注文個数減少

Ｅ．貴業界での問題点や動向（自由回答）

・全ての食品の値上げに驚く。これ以上のお客様への値上げはできない。
・ウクライナ問題、仕入価格の高騰、供給不安定
・災害の増加に伴う保険料の上昇
・原材料等のコスト増（今後の見通し予想できない）
・人材確保の問題
・物資の高騰
・価格設定の不自由
・大手の中国製粗悪品と混同される
・仕入れ値が上がり商品の値段に転嫁しないといけなくなっている
・小規模化
・昨年、一昨年前の資金調整のしわよせがあり、仕事は順調だが、資金の部分で苦労している。
・国際物流の一部改善により、輸入製材の供給が少し改善した。国内では燃料費、電気料金、丸太価格の高止まりによる製造費が上昇しており、その分の製品への価格転嫁が必要となっている。
・若い労働者不足。企業に対する経費負担が増えてきている。
・すべてにおいて悪化
・世界的な資材の高騰により業界全体が疲弊、大手企業も赤字